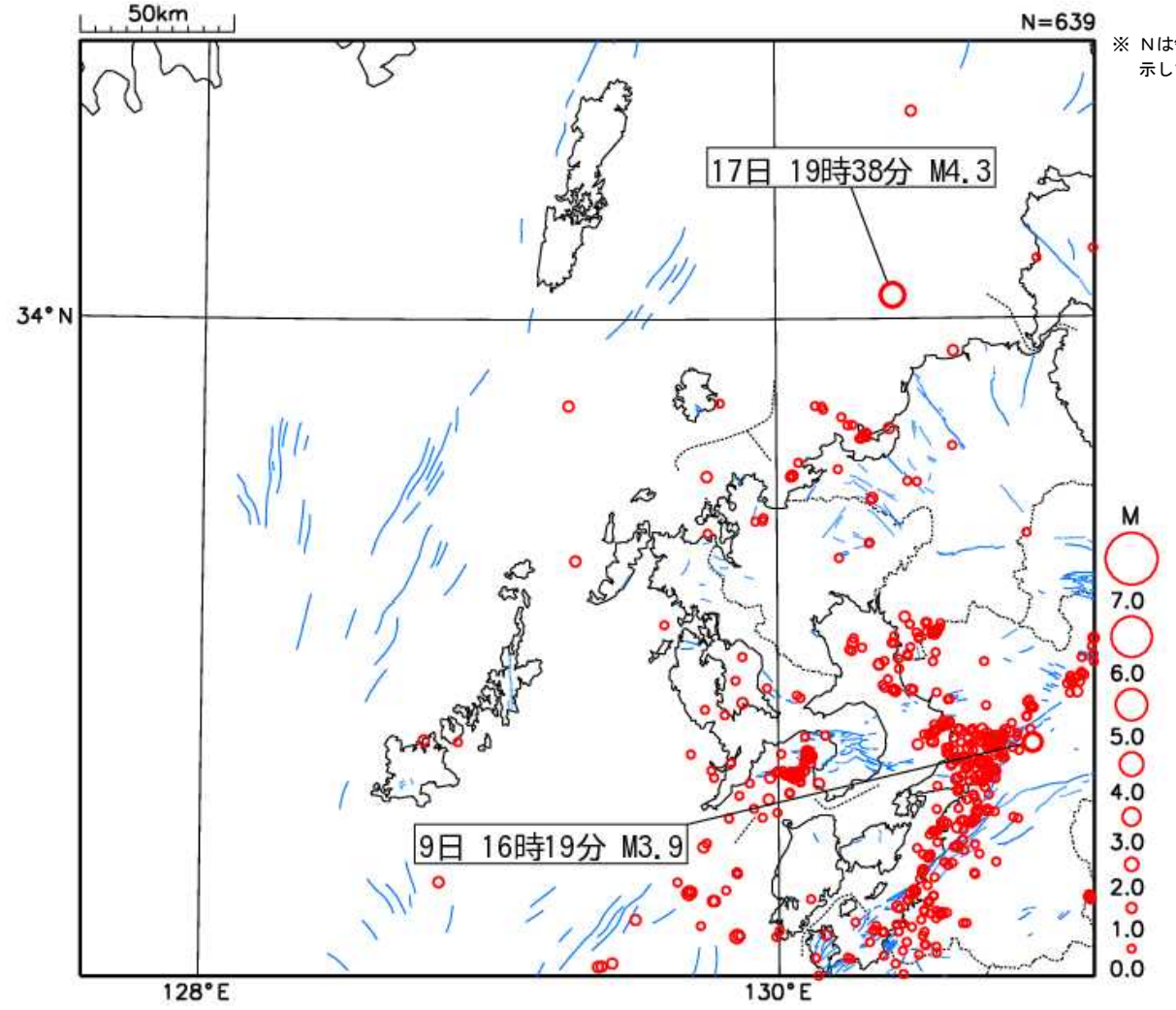
長崎県の地震活動概況（2023 年 2 月）

令 和 5 年 3 月 7 日
長 崎 地 方 気 象 台

地震活動の概況（2023 年 2 月）

２月に長崎県内で震度１以上を観測した地震は２回でした（1 月は 1 回）。詳細は 2～3 ページのとおりです。



震央分布図（2023 年 2 月 1 日～28 日、深さ 30km 以浅、M≧0.0）

断面図（2023 年 2 月 1 日～28 日、深さ 30 km以浅、M≧0.0）
（震央分布図を南の方から見た断面図です）

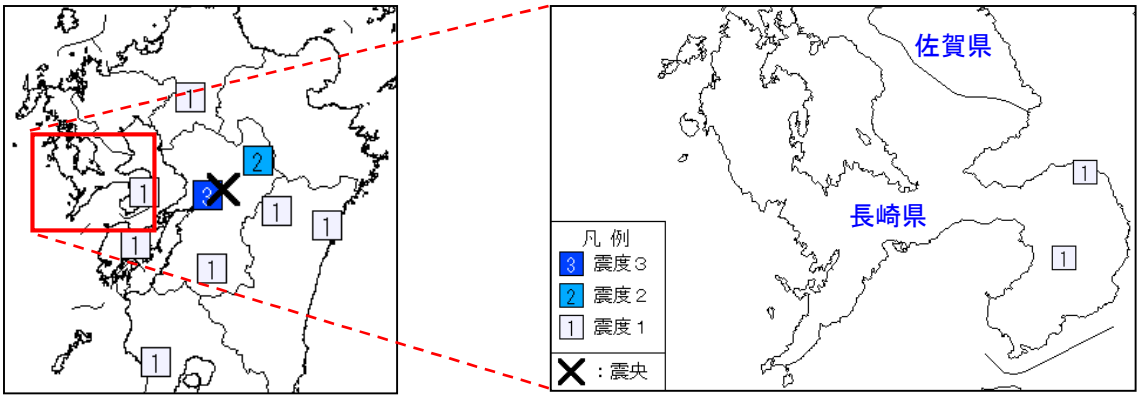
※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す（活断層のデータは新編日本の活断層による）。

※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

熊本県熊本地方

9 日 16 時 19 分に熊本県熊本地方で発生した M3.9 の地震（深さ 10km）により、熊本県の熊本市、益城町などで震度 3 を観測したほか、九州地方で震度 2～1 を観測しました。長崎県では雲仙市で震度 1 を観測しました（図 1）。

今回の地震の震源付近（図 2 領域 a）では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」が発生しています。この領域では、2023 年 1 月 25 日に M3.0 の地震（深さ 11km、最大震度 1）が発生し、長崎県では雲仙市で震度 1 を観測しました（図 2、3）。



2 月 9 日 16 時 19 分　M3.9

図 1　震度分布図（左：地域別、右：観測点別）

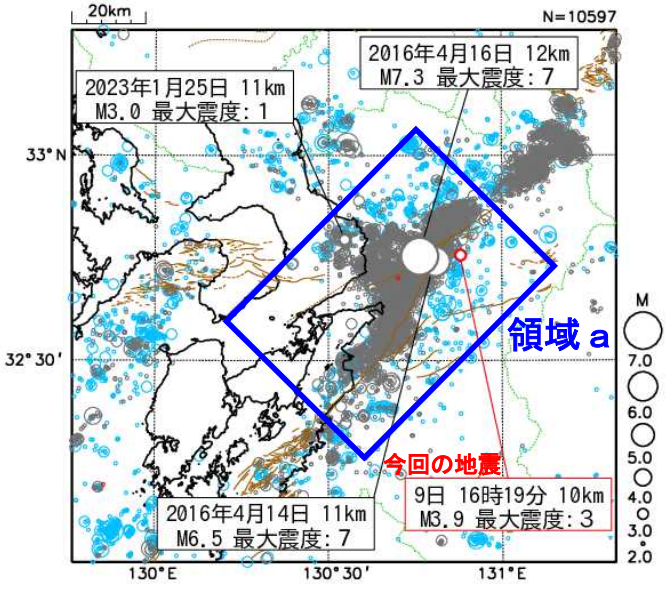


図 2　震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2023 年 2 月 28 日 深さ 0km～20km M≧2.0)

※2016 年 4 月 13 日以前の地震を青色で、
2016 年 4 月 14 日以降の地震を灰色で
2023 年 2 月の地震を赤色で表示

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

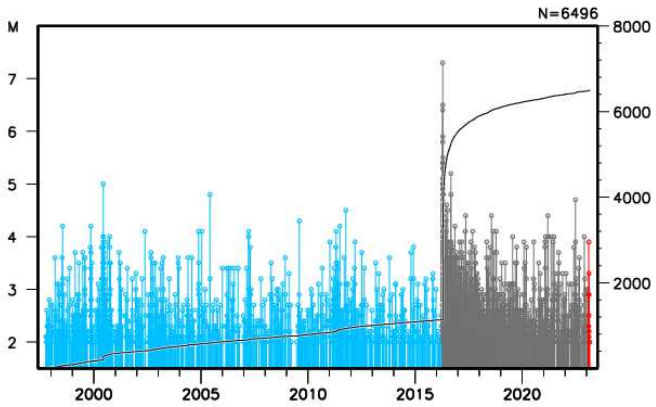
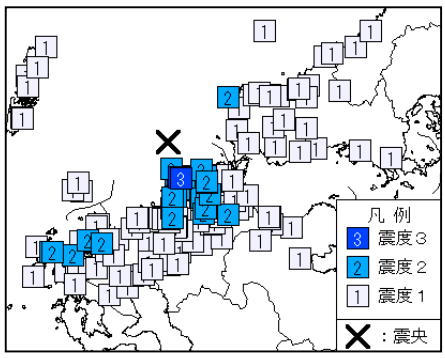


図 3　図 2 領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図

福岡県北西沖

17 日 19 時 38 分に福岡県北西沖で発生した M4.3 の地震（深さ 16km）により、福岡県宗像市で震度 3 を観測したほか、九州地方から中国地方にかけて震度 2～1 を観測しました（図 4）。長崎県では、平戸市及び松浦市で震度 2 を観測したほか、佐世保市、対馬市、壱岐市及び佐々町で震度 1 を観測しました。

今回の地震の震源付近（図 5 領域ｂ）で発生した地震により、長崎県内で震度 1 以上を観測したのは、地方公共団体（長崎県）の震度データの活用を開始した 2002 年 7 月 29 日以降初めてです（図 5、図 6）。



2 月 17 日 19 時 38 分　M4.3
図 4　震度分布図（観測点別）

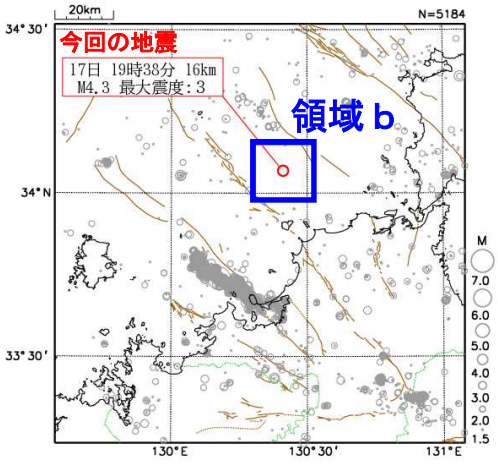


図 5　震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2023 年 2 月 28 日 深さ 0km～30km M≧1.5）
※2023 年 2 月 1 日以降の地震を赤で表示。
※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

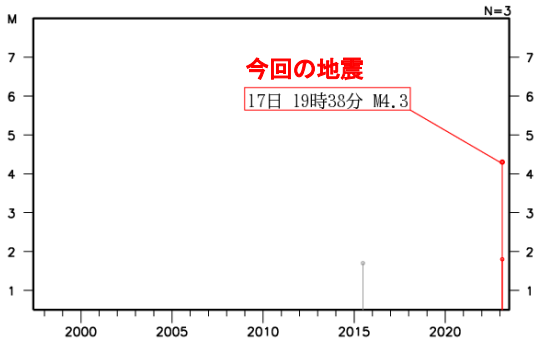


図 6　図 5 領域ｂ内の地震活動経過図

長崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表（2 月 1 日～28 日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2023 年 02 月 09 日 16 時 19 分	熊本県熊本地方	32°45.4'N	130°52.8'E	10km	M3.9
震度　1：雲仙市国見町, 雲仙市小浜町雲仙					
2023 年 02 月 17 日 19 時 38 分	福岡県北西沖	34°04.1'N	130°24.7'E	16km	M4.3
震度　2：平戸市岩の上町, 平戸市鏡川町＊, 松浦市志佐町＊					
震度　1：佐世保市干尽町, 佐世保市世知原町＊, 平戸市志々伎町＊, 平戸市生月町＊ 松浦市鷹島町＊, 佐々町本田原＊, 長崎対馬市厳原町東里, 長崎対馬市上県町飼所 長崎対馬市上対馬町＊, 長崎対馬市豊玉町＊, 長崎対馬市厳原町国分＊ 長崎対馬市峰町＊, 壱岐市芦辺町中野, 壱岐市郷ノ浦町＊, 壱岐市石田町＊					

注）　震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
＊を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

お　知　ら　せ
長崎地方気象台

地震・津波に関する報道発表資料の改善について

気象庁では、規模の大きな地震が発生した場合や、津波警報・注意報を発表した場合などに、報道発表資料（地震解説資料）を用いて緊急会見を行い、発生した地震や津波の特徴の解説、防災上の留意事項の周知を行っています。

近年、この緊急会見は、テレビ中継に加えインターネット(YouTube　等)による配信が行われるようになっており、これまで以上に一般の方にも分かりやすい資料にすることが重要となっています。

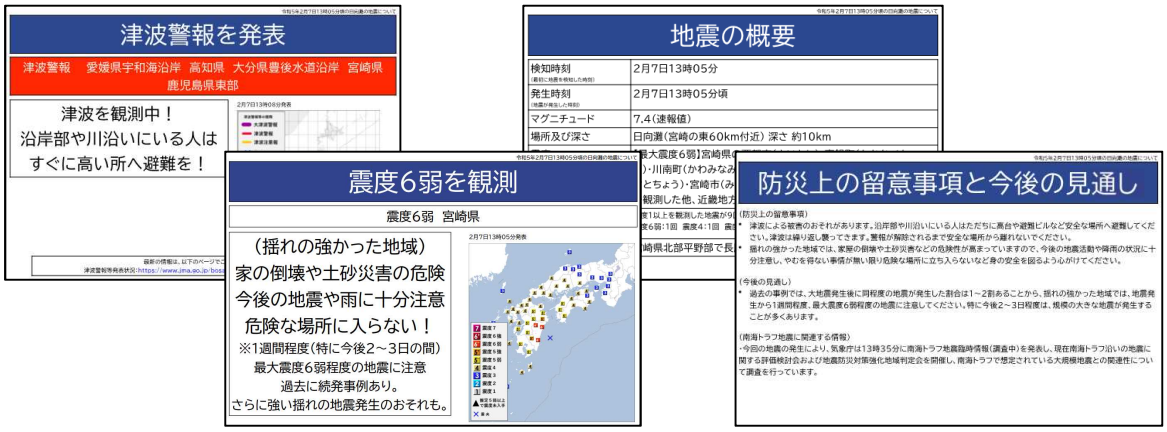
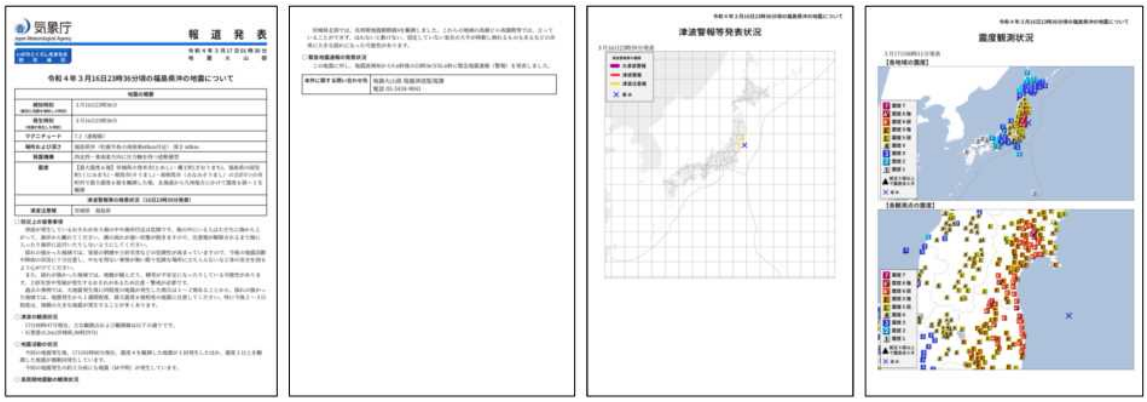
このため、報道発表資料について以下の改善を行うことにしました。

- 会見時に「国民に伝えたいこと」を念頭に優先順位をつける
  「防災上の留意事項」「今後の見通し」を最初に、かつ簡潔に記載
- 画面を活用して解説することを意識
  資料は画面を意識して横長としフォントサイズを大きく端的に記載
- 様々な場面で活用できる形式に改善
  気象庁 HP で閲覧できる図も含めた一式をまとめた内容に改善

改善した報道発表資料の一例は以下の通りです。

なお、長崎地方気象台で作成し提供する地震解説資料（地域詳細版）についても同様の改善を行います。

【改善後の報道発表資料の一例（イメージ）】



【参考：これまでの報道発表資料の一例】